

館報 城山

発行所 長野市立城山公民館
電話 232-3111
編集人 小池英樹
発行人
印刷所 富士印刷

管内の世帯数
(5・8・1)
第1地区…2,777
第2地区…5,457
合計…8,234世帯

城山公民館 市民講座

夢のコラボついに実現！ さくらトリオ(人気音楽トリオ)と ベーゼンドルファー・ピアノ



さくらトリオのみなさん

世界3大ピアノと評されるベーゼンドルファー。決して共演者の演奏を邪魔することのない名器。多彩で柔らかく温かい音色の「ウインナー・トーン」を奏で、有名なピアノリストのリストに愛されたピアノとして有名です。そのベーゼンドルファーが中条交流センターにあり、これまで多くの人々を魅了してきました。

城山公民館では、以前からこのベーゼンドルファーと、絶大な人気を誇る「さくらトリオ」のコラボレーションを実現したいと願ってきました。今回、中条交流センターのご厚意で、念願のコラボコンサートが実現できることになりました。

7月5日(水)、60名を超えるお客様を迎えて、コンサートが始まりました。最初は唱歌メドレーが始まり、日本の曲や外国の曲が次々と演奏されていきました。そして、チェロやピアノのソロも演奏され、まさに時を忘れる夢のような約2時間のコンサートとなりました。

会場のみなさんは、目を閉じて聴く方や、身体でリズムをとる方、歌詞を口ずさむ方もあり、思い思いに素敵な演奏を楽しんでいました。



ベーゼンドルファーの独奏

この日のために、一番良い音で音楽をお届けしたいと、ピアノや演奏者の位置、ステージ幕や会場カーテンにいたるまで心配りと入念なりハールを重ねて臨んでいただきました。当日は、会場いっぱい美しく豊かな音が響き渡り、至福の時間をいただきました。

中条交流センターでは、ベーゼンドルファーを始め、様々なコンサートを開催しています。
☎ 267-2145

地域公民館便り

茂菅公民館長 吉澤 政行



鬼無里街道が長野戸隠線と分かれる四つ角を基に町が大きくなつ

た茂菅区は、名刹静松寺から葛山を経て頼朝山を巡るハイキングコースがあり、好天の日にはハイカーも見られる自然豊かな、総戸数158戸余りの地区です。

私たちの公民館は、築55年以上経過した古い建物であり、耐震構造になっていません。そこで、令和2年公民館建設計画審議委員会を立ち上げ、委員を選出して審議を重ねて市への陳情を行い、他の施設の中に移設等検討してきました。しかし、令和3年、新公民館建設が区総会で議決され、令和4年に公民館建設委員会が発足、現公民館の前方に新公民館を建設することで設計図の作成となりました。

令和5年5月30日地鎮祭を行い、6月12日には基礎工事を行い、7月3日建前の運びとなりました。10月には新公民館落成予定となっております。



建設中の茂菅公民館

公民館活動につきましては、昨年は8月の育成会共催のラジオ体操、12月の公民館主催のしめ縄づくり講習会は実施できましたが、他の行事は新型コロナウイルス感染症の影響のため中止となりました。

今年は、感染者減少となり規制緩和されてきています。一つでも多くの行事が行われ、区民の皆様の人とのつながりが強くなり、楽しく集うことができるような活動ができれば良いと思っております。

「レザークラフト」講座 感想

飯塚 孝子

回覧板で講座開催を知りました。前から、ぜひやってみたいと思っていました。革製品は長く使えるし、手になじんで愛着がもてるからです。

マチなしポーチを作りましたが、思っていた以上に素敵なポーチができました。大きさが丁度よく、手になじんでグレーの色合いもいいです。毎日バッグインバッグとして使っています。

「アクリルたわし」講座 感想

松本 富貴子

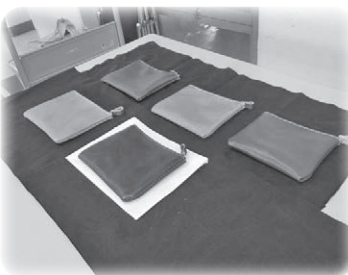
アクリルたわしは、家庭で使える実用性あるもので、家にあるものを利用して作る事ができます。以前友達からもらって知っていたので、回覧板で講座開催を知り申し込みました。長寿の時代、自分見つけや自分磨きができ、指導者がいて、費用もリーズナブルでいいと思いました。

作ってみて、編み物の仕方を思い出すのに時間がかかり



完成したアクリルたわし

今回、革を扱うのは初めてでした。工程でむずかしいところもありましたが、集中できたので、出来栄も良く満足です。これからも、レザークラフトの奥深いところにチャレンジしてみたいです。



色とりどりの完成ポーチ

ましたが、次第に思い出してきました。何事もきつかけを作ることは大事でこの講座はいい刺激になりました。作ったアクリルたわしは、家で実際に使っています。今回の講座に参加して、いい刺激を受けたので、今後は英語などにも挑戦してみたいです。

城山公民館市民講座にご参加ありがとうございます

「大人陶芸教室」講座 感想

林部 貢一

40年ほど前、父が城山公民館の成人学校「陶芸教室」講座を受講していたこともあり、自分もいつか陶芸に挑戦してみたいと思い、この講座に参加しました。

講座を受けてみると、土いじりはワクワク感があり、たいへん心が高揚しました。なかなか難しかったですが、葉の模様の入った皿を作りました。初めての

体験でした。焼き上がりは、自分の考えていなかった色に仕上がっていましたがとても満足しています。

今後は、植物を表現したいインテリア作品を作っていきたいと思います。そして、染物の仕事と焼き物を両方続けていきたいと考えています。



器の成形に挑戦

「大人の香道体験」講座 感想

若麻績 久美子

「源氏香」―。その不思議で洗練された文様に出会ったのは、着物の柄としてでした。その時に香道というものを知り、いつかふれてみたいとい前から思っていました。

まず驚いたのが、その香りの優しさ。線香のような強い香りを想像していたので、なんとも仄かで柔らかい香りに、すっかり癒されました。

さらに香木の貴重さを知り、そんな希少なものを「聞いて」当てる楽しんできたとは、なんて雅な世界なんだらうと驚嘆とともに古に思いをはせる時間になりました。繊細なのにしっかりと香りが残り、帰ってからもしばらく、香炉に添えていた右手が幸せでした。素敵な体験に感謝です。



源氏香を聞く受講者

多肉植物の寄せ植え

日時 10月12日(木) 10時~正午
会場 城山公民館本館
講師 青木真理子さん
要予約
参加費 1,500円

「大人リトミック」
令和5年9月28日(木) 13:30~15:30
場所 城山公民館 第二地区分館
要予約
参加費 無料
講師 北島 由美さん

地震災害...
もしもの時の備えとは...
令和5年9月21日(木) 10:00~11:30
講師 長野地方気象台 山崎 一郎 さん
場所 城山公民館

ひよこくらぶ
身体を元気に!
ストレッチポール
9月14日(木) 10:00~11:30
会場:城山公民館 第二地区分館
託児あり (要予約)
参加費:無料
講師 西澤 真由美さん (健康運動指導士)

ご案内
今後の
市民講座
お申込みを
お待ちしております

特別寄稿

裾花川と長野市街地 その6

裾花凝灰岩層がつくる溪谷

戸隠地質化石博物館

田辺 智隆

国道406号沿いの百瀬付近を過ぎ、市街地方面へ向かうと地形的にも険しくなります。裾花川の谷は再び狭くなり、松島トンネル(1983年開通)、頼朝山トンネル(2009年開通)や橋が連続しています。

「頼朝山」は、鎌倉幕府を開いた将軍源頼朝の伝説にちなんだ名前で、「松島」は裾花川の中に実在する島の名前です。現在の国道からは見えませんが、裾花川の中にアカマツの生えた白い岩でできた島があります。



裾花川の中の松島 (裾花凝灰岩でできている)



裾花川沿いで見られる裾花凝灰岩層 (芋井地区 鎌(たたら))

この白い岩は「裾花凝灰岩層」と呼ばれ、長野県を代表する地層です。県庁の西側にある「白岩」が知られ、長野盆地の西縁部に露出しています。旭山や大峰山、地附山などもこの地層でできており、約700万年前の海底火山が噴出した時にできた地層で、白い軽石や火山灰、溶岩や凝灰角礫岩類などで構成されます。昭和60年(1985)の地附山地滑りを起こした地層でもあります。

この地層の一部には溶岩などでできた硬い部分があり、旭山のような険しい山となっています。以前に紹介した「上

杉謙信物見の岩」、葛山城や旭山城など戦国時代の山城もこの険しさを利用したものです。軟らかい火山灰層は磨き砂やガラスの材料として採掘されました。太平洋戦争末期、安茂里地区で海軍が防空壕を掘ったのもこの地層です。この裾花凝灰岩が風化してできた粘土は、松代焼の釉薬にも使われ、松代焼の味わいのある青や緑色を生み出しています。

また、この地層が露出する部分は、栄養に乏しいこともあってアカマツ林となっている場所が多く見られます。

この「裾花凝灰岩層」という名前は、のちに東京帝国大学の教授になった山崎直方が明治28年(1895)に命名しました。

明治21年(1888)会津磐梯山の噴火、明治24年(1891)の濃尾地震と度重なる災害で多くの犠牲がでたため、政府は震災予防調査会を設けました。そして、過去の災害について基礎的な地質調査を始めました。その中で、山崎氏が妙高火山の噴火や善光寺地震に関する地質調査を行うことになり、この層が命名されました。善光寺地震の際に浅川で石油が湧き出

したこともあり、裾花凝灰岩層は石油が湧く地層としても注目されました。この地層の割れ目から石油がにじみだしているところも裾花川沿いにあります。



ここでは原油が浸み出している

この白い地層は、長野盆地西縁部にある三登山・地附山・大峰山・旭山など標高1000mから800m前後の山をつくっています。国道406号でも、頼朝山トンネルを抜けると、裾花川の深い谷から広い善光寺平へと一気に風景が変わります。このようにこれらの山やトンネルを抜けると大きく変わる風景は、長野盆地西縁の地下にある活断層の動きと深い関係があります。次回以降は、その長野盆地の西縁断層の動きと裾花川のかかわりについて紹介していきます。

田辺氏 掲載シリーズ一覽 令和2年

- 城山公園地下の不思議
 - ・ 館報186号 その1 「湯福川の石造橋」
 - ・ 館報187号 その2 「謎のトンネル1」
 - ・ 館報188号 その3 「謎のトンネル2」
 - ・ 館報189号 その4 「謎の石1」
 - ・ 館報190号 その5 「謎の巨石2」
 - ・ 館報191号 その6 「城山北部 謎の巨石群3」 (信濃招魂社付近)
- 裾花川と長野市街地
 - ・ 館報192号 その1 「裾花川の扇状地の上にある長野市街地」
 - ・ 館報193号 その2 「裾花川の最上流部 高妻山と奥裾花溪谷」
 - ・ 館報194号 その3 「裾花川の中流部 川が削った深い谷」
 - ・ 館報195号 その4 「市街地を水害から守る 裾花ダムと地質」
 - ・ 館報196号 その5 「善光寺温泉付近の地質」
 - ・ 館報197号 その6 「裾花凝灰岩層がつくる溪谷」

折々日記 祭囃子の季節

山口 美緒

制約の多い数年を経て、各地でさまざまな催しが従来通りに開催されるようになってきました。そしてこの秋には、祭囃子が各町内に響くことになりそうです。町の役員さんは夏の声を聞く前から段取りにおおわらわ。久方ぶりすぎてやり方が：なんていうお話も耳にします。

は、練習をお休みしていたり、少なくしていたところも多くありましたが、みなさん、本格的に活動を再開していらつしやるようです。集まって練習ができない間に自分のパート以外も習得されたという方もいらしたり。満を持して今年こそはという、浮き立つような気配を感じています。

もいらつしやいます。いつでもそこにある、そこにいると思っていたのに。「当たり前前」はないということ、そして伝統を伝えることの大変さと大切さを感じています。

令和5年度 城山公民館の主な事業

- 4月・成人学校開校 全29講座
- ・公民館企画の市民講座開始（年間約40講座の予定）
- ・図書の貸し出し開始
- 5月・ひよこくらぶ（未就園児親子対象講座）スタート
- 6月・あひるくらぶ（小学生親子対象講座）スタート
- ・地域の学び講座「鐘鑄堰」第二地区と共催
- 7月・公民館報発行（7月・9月・12月・3月の4回）
- 8月・令和5年度 城山公民館成人式実行委員会発足
- 9月・市民防災講座（地震への備え）実施予定
- ・フレイル予防講座「大人リトミック」実施予定
- 10月・多世代交流イベント ハロウィン開催予定
- ・地域の学び講座「加茂神社他」第一地区と共催予定
- 1月・成人祝賀式 善光寺事務局講堂 開催予定
- 2月・令和5年度 成人学校作品展・学習発表会開催予定
- ・城山公民館 使用団体説明会 開催予定
- 3月・城山公民館運営審議会 開催予定
- 通年・公民館管理事業

令和5年度成人式について

令和5年度「城山公民館成人式」は、令和6年1月7日（日）に、善光寺事務局講堂にて開催予定です。

対象者は、平成15年4月2日から平成16年4月1日までに生まれ、第一・第二地区に居住、または実家がある方のうち、事前に参加申し込みをした方です。

なお、実家を離れ他地区にお住まいの該当者には、ご家族からお知らせいただき、城山公民館にご相談をお願いします。詳細は、今後の地区回覧や公民館ホームページをご覧ください。

城山公民館 ☎ 23213111

あちこちスナッパ

鐘鑄堰と湯福川の立体交差



湯福川から鐘鑄堰を見下ろす

鐘鑄堰は主に三輪地区の水田のためにつくった古い水路。裾花川から取水し、善光寺の南側を通過し三輪へと続く。淀ヶ橋では湯福川と立体交差している珍しい光景が見られる。



鐘鑄堰側から見た湯福川

新刊図書のご案内

- 大島 真寿美
- 誉田 哲也
- 長沢 樹
- 一穂 ミチ
- 三上 真史
- 岡田よしたか
- 高木 ハツ江
- 柴田 ケイコ
- 高石 紀子
- 永山 久夫
- 齋藤 楨
- たとえば、葡萄
- 妖の絆
- ブラックアウト
- うたかたモザイク
- 三上真史の趣味の園芸のはじめかた
- だじゃれべんと
- ハツ江おばあちゃんの「料理のきほん、教えます」
- パンダのおさじとフライパンダ
- おとなのゼリー
- まいにちにんにくレシピ
- すいぞくかんのおいしゃさん

編集後記

『館報城山』の校正案に目を通しながら、ふと、時の流れを感じました。それは、何もせずとも時は流れる「人生百年の時代」、それじゃ勿体ないという想いからです。改めて、城山公民館での「五十の手習い」をお勧めしたくなりました。

思いのほか、様々な学びや楽しい趣味、あるいは体力づくりなどのメニューが揃っていいそうです。シニア層の生涯学習の基地ですから、今日も、はつらつとした受講生の声を耳にでき、励まされる思いになりました。

（秋原）